Hitachi Koki

日立トリマ

M 6

取扱説明書

このたびは日立トリマをお買い上げいただき，ありがとうございました。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり，正しく安全にお使いください。
お読みになった後は，いつでも見られる所に大切に保管してご利用ください。

HITACHI

目　　次

⚠警告、⚠注意、注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ **警告**」、「⚠ **注意**」、「**注**」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。**

⚠注意　：**誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。**

なお、「⚠ **注意**」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

注　：**製品の据付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。**

電動工具の安全上のご注意

- 火災，感電，けがなどの事故を未然に防ぐために，次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に，この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上，指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は，お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

⚠ 警　告

① 作業場は,いつもきれいに保ってください。
- ちらかった場所や作業台は，事故の原因になります。

② 作業場の周囲状況も考慮してください。
- 電動工具は，雨中で使用したり，湿った，または，ぬれた場所で使用しないでください。
- 作業場は十分に明るくしてください。
- 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。

③ 感電に注意してください。
- 電動工具を使用中，身体を，アース(接地)されているものに接触させないようにしてください。
  (例えば，パイプ，暖房器具，電子レンジ，冷蔵庫などの外枠)

④ 子供を近づけないでください。
- 作業者以外，電動工具やコードに触れさせないでください。
- 作業者以外，作業場へ近づけないでください。

⑤ 使用しない場合は，きちんと保管してください。
- 乾燥した場所で，子供の手の届かない高い所または錠のかかる所に保管してください。

⑥ 無理して使用しないでください。
- 安全に能率よく作業するために，電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⑦ 作業に合った電動工具を使用してください。
- 小形の電動工具やアタッチメントは，大形の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

⑧ きちんとした服装で作業してください。
- だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は，回転部に巻き込まれる恐れがあるので，着用しないでください。
- 屋外での作業の場合には，ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
- 長い髪は，帽子やヘアカバーなどで覆ってください。

⚠ 警　告

⑨ 保護メガネを使用してください。
- 作業時は，保護メガネを使用してください。また，粉じんの多い作業では，防じんマスクを併用してください。

⑩ 防音保護具を着用してください。
- 騒音の大きい作業では，耳栓，イヤマフなどの防音保護具を着用してください。

⑪ コードを乱暴に扱わないでください。
- コードを持って電動工具を運んだり，コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
- コードを熱，油，角のとがった所に近づけないでください。

⑫ 加工する物をしっかりと固定してください。
- 加工する物を固定するために，クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で，両手で電動工具を使用できます。

⑬ 無理な姿勢で作業をしないでください。
- 常に足元をしっかりさせ，バランスを保つようにしてください。

⑭ 電動工具は，注意深く手入れをしてください。
- 安全に能率よく作業していただくために，刃物類は常に手入れをし，よく切れる状態を保ってください。
- 注油や付属品の交換は，取扱説明書に従ってください。
- コードは定期的に点検し，損傷している場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- 継ぎ（延長）コードを使用する場合は，定期的に点検し，損傷している場合には交換してください。
- 握り部は，常に乾かしてきれいな状態を保ち，油やグリースが付かないようにしてください。

⑮ 次の場合は，電動工具のスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いてください。
- 使用しない，または，修理する場合。
- 刃物，トイシ，ビットなどの付属品を交換する場合。
- その他，危険が予想される場合。

⑯ 調節キーやスパナなどは，必ず取りはずしてください。
- 電源を入れる前に，調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。

⑰ 不意な始動は避けてください。
- 電源につないだ状態で，スイッチに指を掛けて運ばないでください。
- さし込みプラグを電源に差し込む前に，スイッチが切れていることを確かめてください。

⑱ 屋外使用に合った継ぎ（延長）コードを使用してください。
- 屋外で使用する場合，キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの継ぎ（延長）コードを使用してください。

⚠ 警　告

⑲ 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- 電動工具を使用する場合は，取扱方法，作業のしかた，周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 常識を働かせてください。
- 疲れているときは，使用しないでください。

⑳ 損傷した部品がないか点検してください。
- 使用前に，保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し，正常に作動するか，また，所定機能を発揮するか確認してください。
- 可動部分の位置調整および締め付け状態，部品の破損，取り付け状態，その他，運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。
- 損傷した保護カバー，その他の部品交換や修理は，取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
  スイッチが故障した場合は，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに修理を依頼してください。
- スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は，使用しないでください。

㉑ 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- この取扱説明書および弊社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると，事故やけがの原因になる恐れがあるので，使用しないでください。

㉒ 電動工具の修理は，専門店に依頼してください。
- この製品は，該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
- 修理は，必ずお買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターにお申し付けください。
  修理の知識や技術のない方が修理すると，十分な性能を発揮しないだけでなく，事故やけがの原因になります。

トリマの使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが，トリマとして，さらに次に述べる注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

① 使用電源は，銘板に表示してある電圧で使用してください。
表示を超える電圧で使用すると，回転が異常に高速となり，けがの原因になります。

② 必ずアース（接地）してください。
故障や漏電などのとき，感電の恐れがあります。（詳細は11ページの「1．アース（接地），漏電しゃ断器の確認」の項をご参照ください。）

③ 使用中は，本体を確実に保持してください。
確実に保持していないと，けがの原因になります。

④ 切削する材料は，安定性のよい台に置いて作業してください。
台が不安定ですと，けがの原因になります。

⑤ 使用中は，ビットや回転部に手や顔などを近づけないでください。
けがの原因になります。

⑥ 使用中，機体の調子が悪かったり，異常音がしたときは，直ちにスイッチを切って使用を中止し，お買い求めの販売店，または日立工機電動工具センターに点検・修理を依頼してください。
そのまま使用していると，けがの原因になります。

⑦ 誤って落としたり，ぶつけたときは，機体などに破損や亀裂，変形がないことをよく点検してください。
破損や亀裂，変形があると，けがの原因になります。

⑧ 継ぎ（延長）コードを使用するときは，アース線を備えた3心キャブタイヤケーブルを使用してください。
アース線のない2心コードですと，感電の原因になります。

⚠ 注　意

① **ビットや付属品は，取扱説明書に従って確実に取り付けてください。**
確実でないと，はずれたりし，けがの原因になります。

② **ビットの取扱いには，手袋，布などで手を保護し，十分注意してください。**
不用意に扱うと，切り傷の原因になります。

③ **本体を万力などで保持した使い方はしないでください。**
不意の接触などで，けがの原因になります。

④ **材料に釘などの異物がないことを確認してください。**
刃こぼれだけでなく，反発により思わぬけがの原因になります。

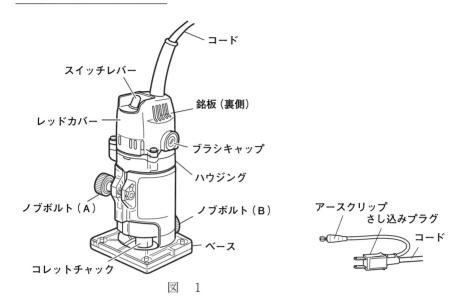
⑤ **スイッチを切った後も，惰性で回転しているビットに注意してください。**
手などが触れると，けがの原因になります。

⑥ **作業直後のビットは高温になっているので，触れないでください。**
やけどの原因になります。

⑦ **回転させたまま，台や床などに放置しないでください。**
けがの原因になります。

注
- **ベースに油類をつけないでください。**
油，ガソリン，シンナーなどの油類は，プラスチックを溶かす作用があるので，ベースにはつけないでください。

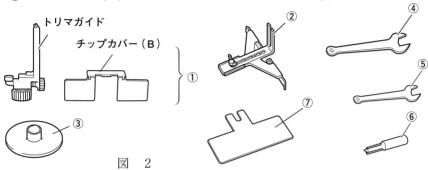
各部の名称

図　1

仕　　様

使　用　電　源	単相交流 50／60 Hz　共用 電　　圧 100 V
取付け可能ビット軸径	6 ㎜
全 負 荷 電 流	4.6 A
消　費　電　力	440 W
無 負 荷 回 転 数	30000 min^{-1} ｛30000 回／分｝
モ　ー　タ　ー	単相直巻整流子モーター
質　　　　量	1.4 kg（コードを除く）
コ　　ー　　ド	アースクリップ付３心キャブタイヤケーブル 2.5 m

標準付属品

① トリマガイド組 ……………………………1組
② ストレートガイド ……………………………1組
③ テンプレートガイド …………………………1個
④ 17㎜スパナ ……………………………………1個
⑤ 10㎜スパナ ……………………………………1個
⑥ ストレートビット（6×6㎜材質超硬）………1個
⑦ チップカバー（C） …………………………1個

図　2

別 売 部 品

…………（別売部品は生産を打ち切る場合があります。）

1．トリマシューベース組

｛トリマシューベース
　チップカバー（B）

図3－イ

2．ルータ用ベンチスタンド　TR12－B

図3－ロ

3．ほぞ面ガイド

図3－ハ

4．6.35㎜（1/4″）コレットコーン

軸径6.35㎜のビットを使用するとき，ご利用ください。

図3－ニ

作業前の準備

作業前に次の準備をすませてください。

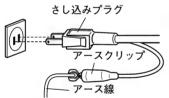
1．アース(接地)，漏電しゃ断器の確認………

ご使用にさきだち，本機が接続される電源に労働安全衛生規則や電気設備の技術基準などに規定された感電防止用漏電しゃ断装置(以下，漏電しゃ断器と言います)が設置されていることを確認してください。

また，本機は必ずアース(接地)をしてください。定格感度電流15mA以下，動作時間0.1秒以下の電流動作型の漏電しゃ断器が設置されている電源でお使いになる場合でも，より安全のためにアースされるようおすすめします。

アースをするときは，下記図のアースクリップをお使いになると便利です。

アースクリップ，アース線は，念のために異常のないことを確認してからご使用ください。テスターや絶縁抵抗計などをお持ちでしたら，アースクリップと本機金属外枠との間の導通を確認してください。

地中に接地極(アース板，アース棒)を埋め，アース線を接続するなどの接地工事は，電気工事士の資格が必要ですので，お近くの電気工事店にご相談ください。なお，アース線をガス管に取付けると爆発の恐れがありますので，絶対にしないでください。

漏電しゃ断器やアース(接地)については，次の法規がありますので，ご参照ください。

労働安全衛生規則（第333条，第334条）
電気設備の技術基準（第18条，第28条，第41条）

2．継ぎ(延長)コード………

⚠ 警　告

• 継ぎ(延長)コードは，損傷のないものを使用してください。

電源の位置がはなれていて継ぎコードが必要なときは，製品を最高の能率で故障なくご使用いただくため，電流を流すのに十分な太さのものをできるだけ短くしてご使用ください。

導体公称断面積	最大長さ
0.75 mm²	20 m
1.25 mm²	30 m
2　mm²	50 m

左の表は，使用できるコードの太さ(導体公称断面積)とその最大長さを示します。

必ずアース(接地)できる接地用の1心をもつ3心キャブタイヤケーブルをお使いください。

3．作業環境の整備・確認………

作業をする場所が注意事項にかかげられているような適切な状態になっているかどうか確認してください。

○騒音防止規制について

騒音に関しては，法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。
ご近所に迷惑をかけないよう，規制値以下でご使用になることが必要です。
状況に応じ，しゃ音壁を設けて作業してください。

ご使用前に

⚠ 警　告

- **ご使用前に次のことを確認してください。1～3項については，さし込みプラグを電源にさし込む前に確認してください。**

1．使用電源を確かめる………

必ず銘板に表示してある電圧でご使用ください。表示を超える電圧で使用するとモーターの回転数が異常に高速になり，機体が破壊する恐れがあります。

また，直流電源で使用しないでください。製品の損傷を生じるだけでなく，事故の原因になります。

2．スイッチが切れていることを確かめる………

スイッチが入っているのを知らずにさし込みプラグを電源にさし込むと不意に起動し，思わぬ事故のもとになります。スイッチはスイッチレバー（図1参照）を**(入)**側に倒すと入り，**(切)**側に倒すと切れます。

スイッチレバーが(切)側になっていることを必ず確認してください。

3．ビットを取付ける………

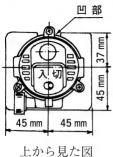
取付けは13ページの「ビットの取付け・取りはずし」の項をご参照ください。

ビットはコレットチャックに完全に取付けられていませんと事故の原因になります。

コレットチャックが十分に締付けられているかどうか点検してください。

4．端面を基準に作業するときは………

上から見た図

図　4

ベースおよびサブベースの凹みのある部分の中心から端面までの寸法は他の３面の寸法と異なりますのでご注意ください。

5．電源コンセントの点検………

さし込みプラグをさし込んだとき，ガタガタだったり，すぐ抜けるようでしたら修理が必要です。お近くの電気工事店などにご相談ください。

そのままお使いになりますと過熱して事故の原因になります。

ビットの取付け・取りはずし

⚠ 警　告

• 万一の事故を防止するため，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

1．ビットの取付け………

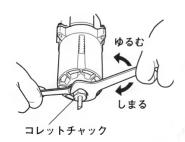



図　5

(1) 本体に付いているベースをはずしてください。
　ベースはノブボルト（A）（図１参照）をゆるめればはずせます。

(2) コレットチャック穴にビットを深く（コレットチャック端面から15mm以上）さし込み，付属のスパナでコレットチャックを固く締付けます。（図５）

注　• 必ずビットを入れてからコレットチャックを締付けてください。ビットを入れずに締付けますと，コレットチャックに傷がつきます。

2．ビットの取りはずし………

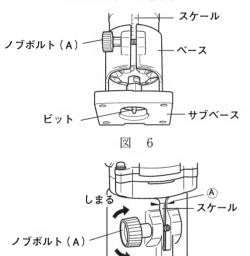
⚠ 注　意
• 作業直後のビットは高温になっているので，触れないでください。

取付けと逆に付属のスパナでコレットチャックをゆるめて，ビットを取りはずします。

使　い　方

1．切込み深さの調節………

図　6

図　7

(1) ベースのノブボルト（A）をゆるめます。
(2) ベースを上下に移動させ，サブベース先端とビットの先端を合わせます。（図6）
(3) ベースの矢印（図7のⒶ部）がスケールの目盛と合っているところを読みとります。
(4) 切込む深さになるまでベースを移動させます。
（スケールについている目盛は1㎜間隔になっております。）
(5) 切込み深さが決まりましたらベースのノブボルト（A）を確実に締付けてください。（図7）

2．削り方………

⚠ 警　告
• 作業時は，保護メガネを使用してください。 • 使用中は，ビットや回転部に手や顔などを近づけないでください。 • 作業中断時や作業後は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。

確実な作業を行なうため，仕事の種類に応じて最も適切なガイドを使用することをおすすめします。（ガイドの使用方法は次ページのガイドの使い方と18ページの別売部品の使い方をご参照ください。）

加工材料はしっかり固定して作業してください。

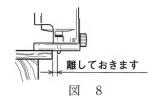
図　8

(1) スイッチを入れるときは，ビットを材料から離し，本体をしっかり保持した状態で入れてください。（図8）

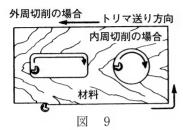
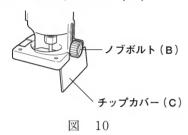
図　9

(2) 送りの方向

ビットは上から見て時計方向に回転します。

トリマの送り方向は図9の方向に合わせて，ご使用ください。図指示と逆方向に送りますとビットの反力を受け，削り面の仕上りが悪くなりますので注意してください。

3．チップカバー（C）………

図　10

チップカバー（C）は切粉の飛散を防止するために使用します。

ノブボルト（B）によりベースに取付けてください。

ガイドの使い方

⚠ 警　告

- **ガイドの取付け・調整をするときは，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．トリマガイド組………

用途　：　ベニヤ張りのトリミング，面取りなどの加工に使用すると便利です。

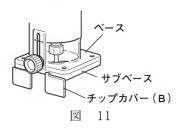
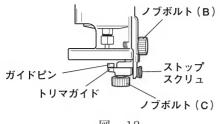
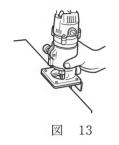
図　11

(1) ベースとサブベースの間にチップカバー（B）をさし込みます。（図11）

図　12

図　13

(2) トリマガイドをノブボルト(B)によりベースに取付けます。(図12)
(3) トリマガイドの上下調節はノブボルト(B)をゆるめて移動します。
(4) ガイドピンの調整はノブボルト(C)をゆるめ，ストップスクリュを回転させて行ないます。(図12)
　ガイドピンを移動させ，適切な位置に合わせましたらノブボルト(C)を締付けてください。
(5) 加工は前ページの送り方向に合わせてご使用ください。(図13)

2．ストレートガイド………

用途 ： 面取り，溝切りなどの直線加工に使用すると便利です。

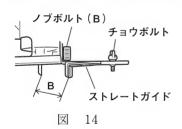
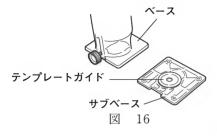
図　14

(1) ストレートガイドはノブボルト(B)によってベースに取付け，固定します。
(2) ビットからストレートガイド面までの寸法Bはチョウボルトをゆるめ，ストレートガイドを移動させて調整してください。(図14)

図　15

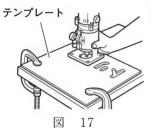
(3) 加工は前ページの送り方向に合わせてご使用ください。(図15)

3．テンプレートガイド………

用途 ： テンプレートを用いて同じ形状のものをたくさん加工するときに使用すると便利です。
（ビットは6×6㎜ストレートビットをご使用ください。）

図 16

(1) ベースとサブベースを止めている4本のネジをプラスドライバーではずします。

(2) ベースとサブベースの間にテンプレートガイドをはさみ，4本のネジで締付けます。（図16）
4本のネジは普通よりややゆるめに締付けてください。締付力トルクは0.98～1.47 N·m ｛10～25 kgf·cm｝が適当です。

図 17

注 **• テンプレートガイドの取付け時，テンプレートガイドの上面がコレットチャックに触れないように注意してください。**

(3) テンプレートは材料に確実に固定してください。
テンプレートガイドをテンプレートにそわせてトリマを送ります。（図17）

テンプレートについて………

テンプレートとは型板，ならい型のことで，ベニヤか薄い板で作ります。
テンプレートを作るときは次のことにご注意ください。
テンプレートの内周にそってトリマをご使用になった場合は，テンプレートガイドからビット端までの寸法だけテンプレートより小さく仕上がります。（6×6㎜ストレートビットの場合2㎜）
テンプレートの外周にそってご使用になった場合はその逆に大きく仕上がります。（図18，図19） テンプレートの厚さは5㎜以上必要です。

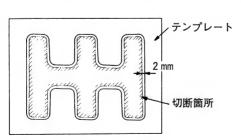



図18 内周にそって切削

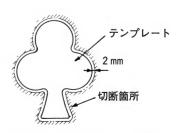



図19 外周にそって切削

別売部品の使い方

1．トリマシューベース組………

用途 ： ベニヤ張りのトリミング，面取りなどの加工に使用します。
両手で使用しますので安定した作業ができます。

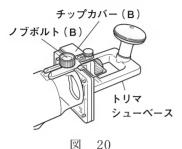
図　20

(1) ベースとサブベースの間にチップカバー（B）をさし込みます。
(2) トリマシューベースをノブボルト（B）によりベースに取付けます。（図20）

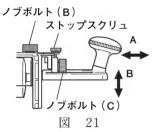
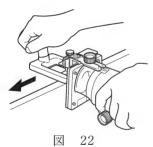
図　21

(3) A方向の切込み調整はノブボルト（B）をゆるめて調整してください。B方向の切込み調整はノブボルト（C）をゆるめ，ストップスクリュを回転させて行ないます。（図21）

図　22

(4) 送り方向は図22の矢印の方向へ送ります。（トリマシューベースに表示してある矢印方向）
矢印と逆方向に送りますと削り面の仕上りが悪くなりますので注意してください。

2．ほぞ面ガイド………

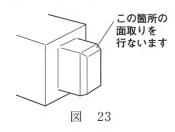
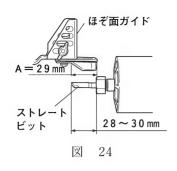
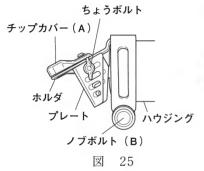
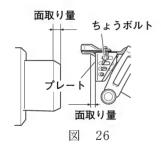
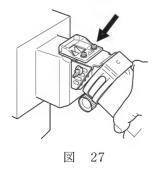
図　23

用途 ： 柱のほぞ部先端の面取り加工に使用します。（図23）
（ビットは6×6㎜ストレートビットをご使用ください。）

図　24

(1) 本体に付いているベースをはずしてください。
ベースはノブボルト(A)をゆるめればはずせます。

(2) ストレートビット(6×6㎜)を取付けます。ビットの長さは28～30㎜になるように調節してください。(図24)
(ほぞ面ガイドのA寸法は29㎜になっておりますのでこの寸法を利用すると便利です。)
ビットが適確な長さになっていませんと面取りが不十分になりますので注意してください。

(3) ほぞ面ガイドをハウジングに突き当たるまでさし込みノブボルト(B)を十分に締付けます。
(図25)

図　25

注 • **ビットの先端がホルダ，チップカバー(A)に接触していないことを確認してください。もし接触していましたら，もう一度ビットの長さを調整してください。**

図　26

(4) 面取り量（図26）の調節はちょうボルト2本をゆるめプレートを移動させます。
面取り量が決まりましたら，ちょうボルト2本を締付けます。

図　27

(5) 送り方向はチップカバー(A)に表示されている矢印の方向に送ります。矢印と逆方向に送りますと削り面の仕上りが悪くなりますので注意してください。ガイドは材料に確実に当ててご使用ください。(図27)

保守・点検

⚠ 警 告
• **点検・手入れの際は，必ずスイッチを切り，さし込みプラグを電源から抜いておいてください。**

1．ビットの点検………

ビットの切れ味が悪くなったものをそのままご使用になっておりますと，モーターに無理をかけることになり，また能率も落ちますから早めに新品と交換してください。

2．カーボンブラシの点検………

モーター部には，消耗品であるカーボンブラシを使用しております。

カーボンブラシの摩耗が大きくなりますと，モーターの故障の原因となりますので，長さが摩耗限度（5㎜）ぐらいになりましたら新品と交換してください。

また，カーボンブラシはゴミなどを取り除いてきれいにし，ブラシホルダ内で

図　28

注 • **新品と交換の際は，必ず図示の番号（21）の日立カーボンブラシを使用してください。**

交換方法 カーボンブラシは，マイナスドライバーなどでブラシキャップ(図1参照)をはずしますと取り出せます。

3．各部取付けネジの点検………

各部取付けネジでゆるんでいるところがないかどうか定期的に点検してください。もしゆるんでいるところがありましたら締めなおしてください。

ゆるんだままお使いになりますと，けがなど事故の原因になります。

4．モーター部の取扱いについて………

モーター部の巻線部分は本機の心臓部ともいえます。巻線部分にキズをつけたり，洗油や水をつけたりしないよう十分注意してください。

注 • **モーター内部にゴミやほこりがたまると，故障の原因になります。使用後は，モーターを無負荷運転させて，湿気のない空気をヘッドカバーの風穴から吹き込んでください。ゴミやほこりの排出に効果があります。**

5．製品や付属品の保管………

使用しない製品や付属品の保管場所として，下記のような場所は避け，安全で乾燥した場所に保管してください。

- ○お子様の手が届いたり，簡単に持ち出せる場所
- ○軒先など雨がかかったり，湿気のある場所
- ○温度が急変する場所
- ○直射日光の当たる場所
- ○引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所

このような場所には保管しない。

ご修理のときは

この機体は，厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は，決してご自分で修理をなさらないでお買い求めの販売店または日立工機電動工具センターにご依頼ください。

ご不明のときは，裏表紙の営業拠点にご相談ください。

その他，部品ご入用の場合や取扱い上でお困りの点がありましたら，ご遠慮なくお問い合わせください。

※（外観などの一部を変更している場合があります。）

お客様メモ

お買い上げの際、販売店名・製品に表示されている製造番号(No.)などを下欄にメモしておかれますと、修理を依頼されるとき便利です。

お買い上げ日　　年　　月　　日	販売店
製造番号(No.)	電話番号

■ 日立工機電動工具センターにご用命のときは、下記の営業拠点にお問い合わせください。

● 全 国 営 業 拠 点

営 業 本 部　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）
☎(03) 5783-0626(代)

北海道支店　〒060-0003　札幌市中央区北三条西四丁目（日生ビル）
☎(011) 271-4751(代)

東 北 支 店　〒984-0002　仙台市若林区卸町東三丁目3番36号
☎(022) 288-8676(代)

東 京 支 店　〒108-6020　東京都港区港南二丁目15番1号（品川インターシティA棟）
☎(03) 5783-0629(代)

中 部 支 店　〒460-0008　名古屋市中区栄三丁目7番13号（コスモ栄ビル）
☎(052) 262-3811(代)

北 陸 支 店　〒920-0058　金沢市示野中町一丁目163番
☎(076) 263-4311(代)

関 西 支 店　〒530-0001　大阪市北区梅田二丁目6番20号（スノークリスタル）
☎(06) 4796-8451(代)

中 国 支 店　〒730-0011　広島市中区基町11番13号（第一生命ビル）
☎(082) 228-0537(代)

四 国 支 店　〒761-0113　高松市屋島西町字百石1981
☎(087) 841-6191(代)

九 州 支 店　〒813-0062　福岡市東区松島四丁目8番5号
☎(092) 621-5772(代)

● 電動工具ご相談窓口 ── お買物相談などお気軽にお電話ください。

お客様相談センター　フリーダイヤル　0120-20 8822（無料）

※携帯電話からはご利用になれません。（土・日・祝日を除く　午前9：00～午後5：00）

電動工具ホームページ ── http://www.hitachi-koki.co.jp/powertools/

日立工機株式会社

507

部品コード　99482205　N